

Share – Contribute – Advance



# PhUSE メンバーシップガイド 2017



# Contents

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>3</b> PhUSEについて<br/>About PhUSE</p> <p><b>4</b> メンバーシップ(個人会員)<br/>Membership</p> <p><b>6</b> Global Membership</p> <p><b>8</b> アニュアル・カンファレンス<br/>PhUSE Annual Conference</p> <p><b>10</b> コンピュータショナル・サイエンス・シンポジウム<br/>Computational Science Symposium</p> <p><b>11</b> CS ワーキンググループ<br/>CS Working Groups</p> <p><b>12</b> シングル・デイ・イベント<br/>Single Day Events</p> <p><b>14</b> PhUSEニューズレター<br/>PhUSE News</p> | <p><b>15</b> 広告について<br/>Advertising</p> <p><b>16</b> イベント・スポンサー &amp; 企業展示パッケージ<br/>Event Sponsorship &amp; Exhibitor Packages</p> <p><b>18</b> Go social – follow PhUSE</p> <p><b>20</b> The PhUSE App</p> <p><b>21</b> The PhUSE Wiki</p> <p><b>22</b> PhUSEのイニシアティブ<br/>PhUSE Initiatives</p> <p><b>23</b> PhUSE 理事会<br/>PhUSE Board of Directors</p> <p><b>24</b> お問い合わせ先<br/>Contact Information</p> |
|--|---|

## PhUSEについて About PhUSE

PhUSE はクリニカルインフォメーションの発展を推進する専門家たちのグローバルなコミュニティ

製薬・ライフサイエンス業界で働いている人であれば、どなたでもPhUSEのメンバーになることができます。製薬、バイオテクノロジー、ソフトウェアプロバイダー、CROなど様々な企業から、世界中で7000人を超えるクリニカルデータサイエンティストがPhUSEに参加しています。PhUSEはボランティアによって運営されているNPOで、クリニカルデータ・統計解析についてのツールやスタンダードを作成したり、新しいアイデアを共有したりする場として活用されています。

PhUSEは、広く業界全体でアイデアや懸念を共有する場が必要だという考えのもと、スティーブン・バンフォード(Stephen Bamford)によって設立されました。2004年の設立当初はたった10名の小さなグループでしたが、すぐに多く

の人々の関心を集め、2005年に最初のカンファレンスがドイツのハイデルベルグで開催されたときには、270名の参加者を集めました。PhUSEは今年で12年目に入ります。これまでに12回のアニュアル・カンファレンス(Annual Conference)、5回のコンピュータショナル・サイエンス・シンポジウム(Computational Science Symposium (CSS))、85回以上のシングル・デイ・イベント(Single Day Events (SDE))を世界中で開催してきました。

PhUSEはまた、FDA、EMA、PMDAといった規制当局やCDISCのような標準作成団体に対して、業界の声を届ける役割としても機能しています。



## メンバーシップ(個人会員) Individual Membership

PhUSEのメンバーになれば、PhUSEが提供する多様なコラボレーションの場を利用できます。

### 1 | Conferences (カンファレンス)

Face to faceの交流はPhUSEのコミュニティにとって何よりも大切です。アニュアル・カンファレンス(Annual Conference)には毎年数百人のメンバーが世界中から参加して、有意義な議論・交流を楽しんでいます。

毎年開催されるコンピューショナル・サイエンス・シンポジウム(Computational Science Symposium (CSS))は、クリニカルデータサイエンスの推進についてワーキンググループ(WG)形式で検討するユニークなカンファレンスです。1年間のWG活動の成果が発表され、参加者と活発な議論が交わされます。

シングル・デイ・イベント(Single Day Events (SDE))は、ひとつのトピックに特化した、よりインフォーマルな形式のカンファレンスです。

### 2 | Publications (出版物)

PhUSE Newsは四半期ごとに発行されるニューズレターで、PhUSEに関する最新情報やインタビュー、レビューなどの記事がインフォーマルなかたちで掲載されています。

### 3 | Online (オンライン)

PhUSEのオンライン環境は、世界中の同僚と共同作業するためのツールを提供します。PhUSEメンバーであれば、PhUSE Wiki、Webinar(ウェビナー; オンライン会議形式のセミナー)、PhUSEアーカイブを利用して、情報収集したり共有したりすることができます。Annual Conference、CSSおよびSingle Day Event (SDE)の発表資料と基調講演のビデオなどもPhUSEアーカイブから閲覧することができます。

PhUSEの年間メンバーシップに含まれるもの:

- ・世界中の Single Day Events への参加(無料)
- ・アニュアル・カンファレンス、CSSへの参加(有料;参加費はウェブサイト参照)
- ・季刊のPhUSE News(印刷物)と月刊のEメールニュース
- ・PhUSE アーカイブへのフルアクセス(過去のカンファレンス・イベントでの基調講演のビデオ、論文、発表資料など)
- ・イベント、WG等のボランティア活動、PhUSE Wiki等のオンラインプラットフォームを通じて、人々とつながることができます。

メンバーになるには、PhUSEウェブサイト [www.phuse.eu](http://www.phuse.eu) からオンライン登録をしてください。

## グループメンバーシップ (グループ会員) Group Membership

一つの企業からいちどに10名以上のメンバー登録をする場合、グループ会員になることができます。年の途中でメンバーの削除・新規追加をすることもできます。

グループメンバーシップについての詳細は、PhUSEのウェブサイトを参照ください。[www.phuse.eu](http://www.phuse.eu)。

グループ会員登録については、PhUSE Officeまでお問い合わせください。[office@phuse.eu](mailto:office@phuse.eu)。



# グローバル・メンバーシップ Global Membership

英国で10人のグループから始まったPhUSEは、今や世界中で7000人以上のデータサイエンティストが所属するグローバルな組織です

# アニュアル・カンファレンス PhUSE Annual Conference

毎年10月に4日間にわたって開催されるアニュアル・カンファレンスでは、活発な議論が交わされます。

PhUSEのアニュアル・カンファレンスには、業界を代表する演者からの基調講演やハンズオンのワークショップ、様々なディスカッションの場などがあり、データサイエンティストにとって欧州で有数のカンファレンスとしてその地位を確立しています。

メンバー間の交流や知識・経験の共有という点では、アニュアル・カンファレンスに勝るものはありません。ぜひあなたも参加して、できればご自分でも発表されることをご検討ください。発表演題の募集は会議の6か月前から始まります。申請した発表要旨が受理されれば、最終の発表論文とPowerPoint発表資料等の提出が必要となります。

2017年のアニュアル・カンファレンスは10月8日~11日までイギリスのエジンバラで開催されます。過去の開催地はウィーン、ロンドン、ブダペスト、ベルリン、バルセロナといった都市でした。

アニュアル・カンファレンスの参加費に含まれるもの:

- ・月曜日~水曜日のカンファレンス参加
- ・月曜日~水曜日の軽食とランチ
- ・日曜日夜の歓迎会とポスターセッション(軽食つき)
- ・月曜夜のPhUSEイベント(会場から移動しての夕食と交通費込)  
(1日分の参加費にはその当日のイベントの費用も含まれます)



# コンピュータショナル・サイエンス・シンポジウム (CSS) Computational Science Symposium

ワーキンググループのプロジェクトチームメンバーと交流・ディスカッションしましょう

CSSは、ワーキンググループ活動を通じてクリニカルデータサイエンスの発展に寄与することを目指しています。会期中は、PhUSEの様々な活動のリーダーやレビューアー（規制当局（FDA）やCDISCを含む）がCSSの参加者であるPhUSEメンバーと協力して新しいアイデアや問題解決のために議論し、またPhUSEの成果物（たとえばSDRGテンプレート）を改善するための活動も行われます。

1年間のワーキンググループ活動の成果が発表・議論されるこのユニークな会合は、毎年、米国のメリーランド州で開催されています。

2016年6月には、初めてヨーロッパでCSSが開催されました。スイス・バーゼルに100名以上の参加者が集い、新規/既存のワーキンググループで、新しいプロジェクトについて話し合いました。

2017年のCSSは3月19日~21日まで、米国メリーランド州のシルバースプリングで開催されました。



# CS ワーキンググループ CS Working Groups

コンピュータショナル・サイエンスの応用と改良を目的とした協働

CS（コンピュータショナル・サイエンス）ワーキンググループは、医薬品等の開発や規制当局のレビューをサポートするためのツール、標準、プロセスを開発します。各グループはそれぞれ目的を設定し、アカデミア、テクノロジー・ベンダー、CRO、製薬、生物製剤、医療機器といった産業界からのボランティアが参加しています。ワーキンググループは定期的にウェビナーを開催し、PhUSEメンバーに対してプロジェクトのアップデート情報を提供しています。ウェビナーに参加できない場合は、その発表資料と音声つき動画がPhUSEウェブサイトから閲覧可能です。

PhUSEメンバーであればどなたでもワーキンググループへ参加できます。参加するには、PhUSE Wikiを参照してください。



## シングル・デイ・イベント Single Day Events

エキスパートから学び、自らのスキルセットを拡張しよう

シングル・デイ・イベント(SDE)は、1年を通じて世界中で開催されており、PhUSEメンバーは無料で参加できます。クリニカルデータサイエンスに関連する幅広いテーマやトピックをカバーし、他社の同業者とのネットワーク形成や交流の機会を提供します。

2016年は、ヨーロッパ、アメリカ、インド、日本、中国において17のシングル・デイ・イベントが開催されました。トピックは様々ですが、たとえば”Data Visualization (データの可視化)”、”SEND (非臨床データ標準)”、”Leadership Development and Innovation in Clinical Trials (臨床開発におけるリーダーシップと革新)”といったテーマがありました。

これらのイベントも盛況に終わり、また今後もSDEは世界各地で開催されます。SDEへの参加にご興味があれば、PhUSEウェブサイトからSDEチェアにご連絡ください。

SDEの開催時間は通常9:00から17:00で、buffetランチと軽食が提供されます。各イベントでは、発表者とその発表内容が書かれたパンフレットを提供します。

アジェンダはSDE開催日の4週間前までにPhUSEウェブサイトに掲載されます。ぜひPhUSEウェブサイトでも今後の開催予定をご確認ください。



## PhUSEニューズレター PhUSE News

ニューズレターには、インタビュー、記事、業界ニュース、今後のイベントに関する情報が掲載されています

季刊のニューズレターは、メンバー登録時に紙媒体での送付を希望したPhUSEメンバーに対して送付されます(グループメンバーの場合は部数の上限あり)。ニューズレターは以下のスケジュールで発行されます。

春号 3月1日  
夏号 6月1日  
秋号 9月1日  
冬号 12月1日

全てのバックナンバーはPhUSE ウェブサイト上で閲覧可能です。

マンスリーメールは、PhUSEのミニ・ニュースレターとも呼べるもので、PhUSEの最新情報をE-mailにて毎月1日にお送りしています。過去のマンスリーメールはPhUSEウェブサイト内にあるCommunications Libraryから閲覧可能です。



## 広告について Advertising

ニューズレター、マンスリーメール、カンファレンスやイベントでの出版物の全てに広告を掲載することができます。

### ニューズレター(印刷物及び電子版)

A4フルサイズ	£500
---------	------

A4裏表紙	£675
-------	------

### PhUSE マンスリーメール

企業ウェブサイトへのリンク付きバナー広告、求人広告 マンスリーメール1回	£350
---	------

マンスリーメール4回連続(12ヶ月間)	£1,000
---------------------	--------

### PhUSE イベント・パンフレット

Annual Conferenceのパンフレットへのフルカラー広告	£800
-----------------------------------	------

Annual Conferenceバッグへのチラシ、小冊子の投入(650個)	£800
--	------

Computational Science Symposium のパンフレットへのフルカラー広告	\$1,000
---	---------

Computational Science Symposium バックへのチラシ、小冊子の投入	\$1,000
--	---------

(上記の費用には、付加価値税は含まれておりません)

原稿はjane@phuse.eu宛にお送りください。電話でのお問い合わせは01843 609603までお願いいたします。



## イベント・スポンサー & 企業展示パッケージ Event Sponsorship & Exhibitor Packages

世界中で開催されているカンファレンスとイベントでは、スポンサー・パッケージと企業展示パッケージを用意しています

### PhUSE Annual Conference アニュアル・カンファレンス

#### プラチナ・パッケージ

PhUSE Society、及びPhUSEカンファレンスのスポンサーとしては最上級のパッケージです。包括的な企業展示パッケージ、10名分のカンファレンス・パス、広告掲載が含まれます。

#### カンファレンス・スポンサー・パッケージ

カンファレンス及びPhUSEウェブサイト及びニューズレターのカンファレンス・セクションへのスポンサー枠が含まれます。



#### 企業出展パッケージ

アニュアル・カンファレンスは、ヨーロッパの製薬業界におけるプログラマー、アプリケーション開発者、その他ソフトウェアユーザーが集まる最大規模の会合です。そこでの企業展示の機会を用意しております。このパッケージには、2名分のカンファレンス・パスが含まれます。

#### スタンド・アローン・スポンサー

様々な個別のオプションを利用できます。

#### カンファレンス広告

カンファレンス・パンフレットへの広告掲載ができます。

### PhUSE Computational Science Symposium

#### コンピューター・サイエンス・シンポジウム

#### スポンサー、企業展示

広告、スポンサー、企業展示を利用できます。PhUSEウェブサイトにご案内を掲載しています。

### PhUSE Single Day Events シングル・デイ・イベント

#### イベント・スポンサー

シングル・デイ・イベント(SDE)は、ヨーロッパ、アメリカ、アジアの各地で開催されています。SDEのスポンサーに関するご案内はPhUSEウェブサイトに掲載しています。

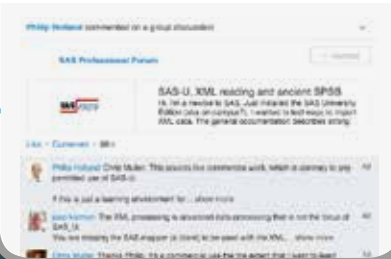
スポンサーや企業展示に関しては [office@phuse.eu](mailto:office@phuse.eu) にお問い合わせいただくか、PhUSEウェブサイトでご確認ください。

# PhUSEをフォローしよう

PhUSEのソーシャルメディアをフォローして、最新の情報をキャッチしてください。

## PhUSE Office

Plenty of discussion around diverse subjects on LinkedIn. Here's a conversation from the SAS Professional Forum.



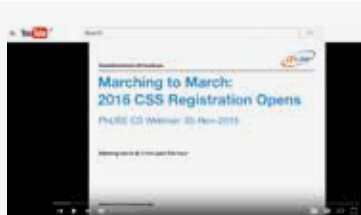
## /phusebook

Get details of all upcoming Single Day Events, including location maps and directions as well as venue information, on our Facebook page.



## /phusetube

Missed a Webinar Wednesday? Want to catch up on an Annual Conference or CSS keynote speech? Visit PhUSETube.



## @phusetwitta

Inspired by a keynote, or impressed with a presentation? Let us know on Twitter.



## @phusesnappa

Share your event photos with us on Instagram.



## PhUSEアプリ

このアプリで、PhUSEでいまなにが起こっているかをチェックできます

このアプリを使えば、PhUSEのすべてのコミュニケーションチャンネルにアクセスできます。

SDEへの参加登録、カレンダーへの追加、地図のダウンロードができます。

PhUSEの各種ソーシャルメディア (Facebook, Twitter, LinkedIn and YouTube) をフォローしたり、PhUSE News を読んだりすることもできます。

写真・論文・動画をPhUSE Communityとシェアすることも可能です。

PhUSEアプリは、Apple App StoreやGoogle Play App Storeから無料でダウンロードできます。



## PhUSE Wiki

PhUSE/FDA/業界のコラボレーションツールを使って情報共有・協働しよう

PhUSE Wikiは世界中の医薬品開発に携わるプログラマーたちとコラボレーションするためのツールで、phusewiki.org からアクセスすることができます。PhUSE CS Working GroupではこのWikiを使って進捗状況を共有していて、すばやく、簡単に、かつ透明性をもって活動することができます。

ここ数年は、PDFよりもWikiを使って成果物を公表する方法を取ることも多くなっています。Wikiを使うことで共同執筆者ともディスカッションや情報共有がしやすくなります。また、会合の後に継続的な協議が必要になった場合にも、Wiki上でDiscussion Clubとして協議を続けることができます。

**Wiki**を初めてつかわれる方へ

まずはWikiのアカウントを作って、興味のあるトピックからコラボレーションをはじめましょう。

PhUSE Wikiについてご意見や質問のある方、またWikiの運用をサポートいただけるという方は、PhUSE Wiki管理者グループ (wikiadmin@phusewiki.org) にご連絡ください。



## PhUSEのイニシアティブ PhUSE Initiatives

世界で6,000名を超えるメンバーの経験を活かして、PhUSEは今日の産業界をかたちづくり、そしてその将来像を提言します

### Future Forum フューチャー・フォーラム

フューチャー・フォーラムは、臨床開発とデータサイエンスの将来にかかわるテーマを扱うシンクタンクです。第1回のFuture Forum ワークショップは2015年8月28日にロンドンで開催されました。ワーキンググループが組織され、産業界のビジョンとPhUSEが貢献できる分野に関して、イニシアティブが動き始めています。

### KPI (Key Performance Indicator)

プロジェクト

2016年、PhUSE理事会は新たなプロジェクトを承認しました。KPIプロジェクトは

### PhUSE Wiki

PhUSE、FDA、産業界のコラボレーションために、クリニカル・トライアル・インフォマティクスに関する情報を共有する場を提供しています。

### Data De-identification/ Data Transparency

データの匿名化/データの透明性  
データ匿名化に関するアプローチと匿名化されたデータセット間の一貫性を向上させるためのルールを、CDISC SDTMスタンダードを中心に構築しました。

## パートナーとの活動 Working with Partners

PhUSEはFDAと良好な関係を構築してきており、それはワシントンDCでのコンピューショナル・サイエンス・シンポジウム(CSS)の開催を通じて、より強固なものとなってきています。また、EUの臨床試験ポータルへの参加やドキュメントの日本語化を通じて、EMAやPMDAとの関係も構築しています。

さらに、PhUSEはPhUSE/CSS/FDAとのコラボレーション体制の構築により、CDISCデータ申請への移行をサポートしてきました。将来的には、これらは個別のワーキンググループ等へ移行する可能性もあります。

## PhUSE 理事会 PhUSE Board of Directors

### Sascha Ahrweiler

コミュニケーション・ディレクター

### Stephen Bamford

イベント・ディレクター

### Adrienne Bonwick

オペレーション・ディレクター

### Jean-Marc Ferran

パートナーシップ・ディレクター

### John Hirst

ファイナンス・ディレクター

### Chris Hurley

US ディレクター

### Yvonne Moores

ストラテジー & イノベーション・ディレクター

### Anup Patel

テクニカル・ディレクター

### John Salter

EU ディレクター

### Frank Senk

メンバーシップ・ディレクター

### Sarvesh Singh

アジア・ディレクター

## PhUSEの活動に参加しよう Getting Involved

PhUSEは拡大中の組織で、そのスムーズな運営には多くのリソースが必要です。アニュアル・カンファレンス実行委員会のメンバー、ニューズレターへの投稿、あるいはシングル・デイ・イベントのチェアなど様々な方法で、PhUSEで活動してもらえればありがたく思います。

PhUSEをサポートいただけるようでしたら、PhUSE 理事会 (Board of Directors)あるいはPhUSE Office (office@phuse.eu)にご連絡ください。

お問い合わせ先

## Contact Us

---

PhUSE Office,  
Kent Innovation Centre,  
Millennium Way, Broadstairs,  
Kent CT10 2QQ

 +44 (0)1843 609600

 [office@phuse.eu](mailto:office@phuse.eu)

 [phuse.eu](http://phuse.eu)

PhUSE Japan

 [japan@phuse.eu](mailto:japan@phuse.eu)

(日本語での連絡も可)

## Stay connected with PhUSE

 [linkedin.com/phuseoffice](https://www.linkedin.com/company/phuseoffice)

 [twitter.com/PhUSETwitta](https://twitter.com/PhUSETwitta)

 [youtube.com/PhUSETube](https://www.youtube.com/PhUSETube)